

令和6年度 第5回美里地域会議 会議録

日時：令和6年8月8日（木）18時50分～20時20分

場所：美里交流館 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞青木 徹、大坪 道助、岡本 渉、北村 猛志、小林 健一、
小林 忠雄、清水 幸男、鈴木 智映子、豊田 博久、
中島 康隆、野村 耕一、濱野 敏子、松村 洋、丸石 敏憲、
望月 英光、森口 美代子、山本 由和、吉本 勝
＜高橋支所＞ 前田支所長、出口副支所長、川瀬主査

＜内容＞

1 豊田市民の誓いの唱和

2 会長挨拶

3 第9次豊田市総合計画に関する答申への検討結果報告について【報告】

昨年度答申した「第9次豊田市総合計画に関する諮問」について、豊田市の考え方を示す「検討結果報告書」を確認し、中間案の紹介動画を視聴した。

4 令和6年度地域課題解決事業について【情報提供】

- ・令和6年7月21日（日）及び8月4日（日）に開催したワークショップの様子について、事務局と当日見学した委員が報告した。
- ・第3回東山第5ちびっこ広場のワークショップの開催日時が、10月6日（日）午後3時から9月22日（日）午後3時に変更になったことを事務局が報告した。
- ・9月15日（日）及び22日（日）開催のワークショップは、次回の地域会議で見学者の確認を行う。

5 提言について

（1）配布資料について（説明）

前回会議での委員の意見のまとめ及び制度上、地域課題解決事業で取り組むことができない事業について事務局が説明した。

（2）提言したい美里地区の課題について（協議）

4グループに分かれて、優先して取り組むべき美里地区の課題をアンケートの大項目から2つ選び、理由とともに発表した。すべてのグループが「高齢福祉」を優先順位1としていたため、美里地域会議から提言するテーマは「高齢福祉」を軸として、防災対策や地域活動の担い手不足、多世代交流、健康づくりなど複合的に提言する。次回以降、提言に向けて深掘りしていく。他地域会議の取組を知るため、過去に発行した高橋地域会議だより及び益富地域会議だよりを次回会議で配布する。

【Aグループ】①高齢福祉 ②地域活動の担い手不足

この二つを共通の課題と捉え、提言していきたい。高齢者が参画できる場を作り、そこに若い世代も集まって、多世代交流ができる機会を設けることで課題解決を図りたい。どのような場を設定したらよいのか、どのように参加者を募るのかについて、今後深掘りしていきたい。

【Bグループ】①高齢福祉 ②防災対策

高齢福祉については、フレイル予防の取組を中心に、高齢者が外出する機会作りを提言したい。防災対策については、地域活動の担い手不足や高齢福祉も含めて課題と捉えている。防災部会の立ち上げることで若い世代の参加を促せないか。野見山自治区では、まつり実行委員を立ち上げ、若い人に参加してもらっている。

【Cグループ】①高齢福祉 ②防災対策

高齢福祉については、免許返納後の交通手段、発災時の避難方法を特に課題と捉えている。防災対策については、過去の地域課題解決事業で取り組んでいるが、継続事業として実施できていないので、広域の避難訓練などへの着手が必要と考える。

これまで話題に出ていなかったが、第9次豊田市総合計画の中間報告動画にあった少子化対策や子育て支援も課題だと考える。ただ、地域で解決できるレベルの課題なのか分からない。

【Dグループ】①高齢福祉 ②防災対策

高齢福祉については、難しい取り組みではあるが、移動支援を考えたい。

フレイル予防のために、健康づくりにも力を入れたい。すでに、美里地区では健康づくりに力を入れているが、健康づくりの一つとして地域活動への参画を促したい。無関心な人を引き込む手法の検討が必要。

防災対策については、自主防災会がそれぞれ取り組んでいるが、きっかけがあればもっと人が集まるのではないか。

6 事務連絡

(1) 住民主体の共助交通シンポジウムについて

令和6年9月26日（木）開催の「住民主体の共助交通シンポジウム～コミュニティ・カーシェアリングの事例から考える～」のチラシを配布し、委員へ情報提供した。参加を希望する委員は、各自申込みを行う。

(2) 令和6年度 第5回美里地域会議

- ・日 時 令和6年9月12日（木） 午後7時～
- ・場 所 美里交流館 多目的ホール